

## 地区委員会はクラブの「相談窓口」 問い合わせ回答書

15-16 櫻木ガバナー年度地区管理運営委員会  
 文責：委員長 金子 公久  
 E-Mail : kokusai@nctv.co.jp

## 《相談窓口依頼内容の回答》

## 《貴クラブからの相談内容》

「原点を知り、考える」について、ガバナーの考える原点とはなにか？

I. Mで地区方針の「原点を知り、考える」の原点の明確かつ具体的な説明が無かったと記憶します。ロータリアン同志が、バラバラな原点観を持っているのではおかしい訳です。それは自明のこととして、説明を省いたのかも知れませんが、改めて、ガバナーの考える原点とは何かをお話し頂きたい。

## 《当委員会の見解と回答》

ご相談内容に回答させていただきます。

ガバナーが地区方針に「原点を知り、考える」は本年度地区運営の基本であります。

櫻木ガバナーエレクト主催の地区三大セミナーで皆様にお考えをお話させて頂いております。

物の始まりには、必ず原点が有ります。ロータリーも同様です。1905年にポールハリスと親しい仲間が集まることからロータリーが生まれたという事実です。何故できたか？当時の時代背景は？また、何故シカゴの街でクラブが誕生したのか？こうした過程には、ポールハリスが心に秘めて温めていた構想が有るはずで。そのところを理解できれば、ロータリーとは何か、ロータリーとは難しいことか、だからロータリーがどういう意味を持つのか？ロータリーを知り考えると云うことは大切なことではないでしょうか。ロータリー用語一つを取り上げても、全ての事柄にこれが言えます。「疑問を持つ」そこで考えることがロータリーをより深く理解できるという意味になります。「原点」とは、まさにそういうところまで遡って見つめ直し、考えを巡らすことで真実が見えてくることに繋がる。そういう発想をしては如何でしょうか。

例え、ロータリーに関する多くの著書に目を通しても、其処にあるのは著者の思いであり、真実を理解できるとは限りません。先ず物事に興味を持つことは、疑問を持ち、原点まで遡って、その物事が後に与えた影響と効果までを考えることに繋がります。

このように思考を深めることで、見えてくる真実からロータリーを理解いただければ、ロータリーは決して難しいものでもなく、皆さんの身近な易しいロータリーへと理解が深まると考えるからです。これが、ガバナーの考える「原点」であります。

ご理解いただけただでしょうか。

これに関して再度のご質問や、別件のご質問を歓迎します。どうぞ何なりと質問をお寄せ下さい。本年度櫻木ガバナーの下、活動します地区管理運営委員会を宜しくお願い申し上げます。